

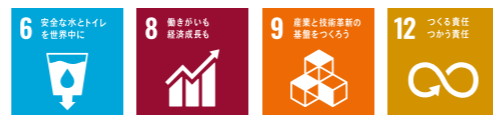
最先端技術に挑む
機械加工のエキスパート

株式会社村上製作所

富岡市

- ▶ 代表者: 村上 元昭
- ▶ 設立年月日: 1966年2月1日
- ▶ 資本金: 2,000万円
- ▶ 従業員数: 86人
- ▶ 住所: 富岡市宇田250-12
- ▶ TEL: 0274-62-2536
- ▶ URL: <https://www.murakami-mfg.co.jp>

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

国内大手機械メーカーを主要取引先（KYB・沖電気工業・東芝等）とし、建設機械の油圧部品および発電所、金融機関ATM、自動車関連の生活を支えるあらゆる精密部品加工を手掛けています。創業以来蓄積してきた技術やノウハウに加え、先進の工作機械を駆使して高度化するお客様ニーズに対応、設計・加工・測定・組立・性能試験までミクロンオーダーで対応しています。

経緯・背景

当社が環境分野への進出を考えたのは10年以上前です。自社技術を活用して製品開発を検討する中で、業務用生ゴミ処理機の社会的ニーズの高まりに目を付けました。火力発電所で使用しているタービンブレードの加工で培った技術をもとに、生ゴミ処理機の攪拌に活用できるのではないかと考え、開発に取りかかりました。

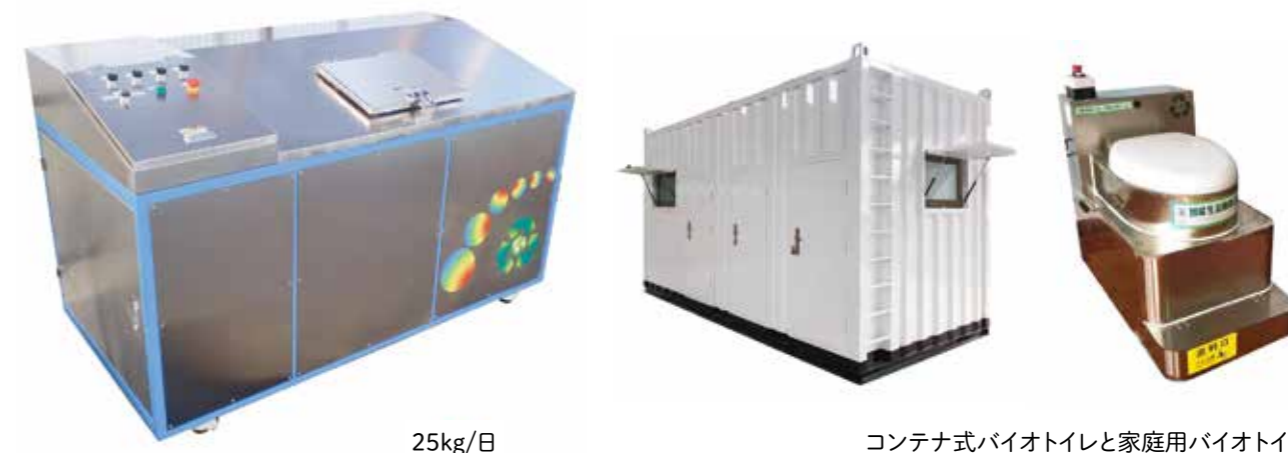
生ゴミのにおいを防ぎ、給排水処理が必要ない今までになかった製品を作ろうと研究を重ねましたが、攪拌技術だけではうまくいかず、独自の菌床の開発に力を入れました。その後約3年をかけ理想とする菌床を完成させました。処理機には水分量等を制御するセンサーを取り付け自動調節が可能、完成には約7年を要しました。

具体的な取組

- 1 完成したバイオ式生ゴミ処理機「MS MAGIC」では、同社で開発したオリジナルブレードと菌床により、生ゴミを圧壊・攪拌することで減容率95%を達成。処理できるものは工業有機汚泥・生ゴミ・穀物野菜・果物・肉片・魚介類等。有機物を水と二酸化炭素に分解し、3か月から半年間は菌床の取り出しが不要です。
- 2 「燃やす・流す」より「バイオで消滅処理」をキーワードにCO₂の排出を削減。標準的な生ゴミ1トンをトラックによる収集と運搬、焼却で処理する場合CO₂排出量約2051Kgに対し、「MS MAGIC」なら約161kgと約1/13の排出量に抑制可能であり、自然環境改善に寄与するものです。

成果・効果

完成した1号機は現在、富岡市内のこども園「めぶきの森」に導入。同園の園長や職員の方からは「生ごみを入れるだけで難しい操作や手間がなく簡単に利用しています。子どもへの食育にも使え、大変重宝している」とご意見をいただいています。また処理後の菌床は堆肥として活用することも可能であり、循環型社会の一翼を担うべく取組を行っています。



当社にとってのSDGsと、その展望

当社は創業以来、ものづくり・機械加工の分野で先進の技術フィールドに果敢に挑戦し続けてきた技術開発型の企業です。同時に地元に貢献し、地域社会や従業員の雇用を守る点で、技術・ノウハウを蓄積、その価値の向上に努め、持続可能な体制を目指しております。現下、ものづくりの現場でもグローバル化や環境面での配慮、新型コロナウイルス対策等様々な課題への取組が必要不可欠であり（その中で企業の特長も求められているものと考えます。）、「生ゴミ処理機」の普及を目指す傍ら、その過程で生み出された菌床を活用した「バイオトイレ」も製品化に漕ぎ着けました。世界に目を向けると、途上国の多くで下水道の未整備等衛生面で多くの問題を抱えており、早急な対応が求められています。当社の技術・製品を活用して、途上国のかたの生活向上、より豊かな暮らしができるよう貢献したいと考えております。